

毎週日曜発行
2020 8/2

こども新聞 週刊がほピョンプリンス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

⑤

戦後75年特集

日本がアメリカやイギリスなどと戦った太平洋戦争が1945年8月15日、終わりました。今月の1面は戦後75年を特集します。第1週は戦時中、小学生だった仙台市青葉区の老舗時計店「三原本店」社長の三原喜八郎さんに、戦争の記憶を話してもらいました。

◇

通っていた東二番丁小は当時、国民学校と呼ばれていました。つらかったのは、戦況が悪くなるにつれて食べ物不足

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

食べることに必死だった

学校でも給食は週1

したことです。いつもおなかをすかせていました。

回、中身の少ない雑炊が出るだけ。校庭の半分を畑にしてカボチャやイモを育てるなど、誰もが食

祖父の教育方針で、高校生になると接客を学ぶため店頭に立ちました。接客は商売の基本。現在も、できる限り店に出るようにしています。



三原喜八郎さん(86歳・三原本店社長)

みはら・きはちろう 仙台市出身。仙台高卒。1973年に3代目社長に就任(しゅうにん)。仙台市中心部のおおまち商店街振興(しんこう)組合理事長も務(つと)めた。

「今度、生まれるなら絶対に農家がいい」と何度、思ったことか。農家にはコメや野菜があったからです。



戦時中だったので、学校で男の子はみんな軍人になるものと教育されました。私も陸軍大將に憧れていました。毎月、軍歌を歌いながら神社を参拝する日がありました。勉強のほか、敵と戦うため、竹やり訓練もしました。遊びといえ、棒切れを竹やりに見立てた戦争ごっこでした。人手不足で小学5年か

ら、半強制的に新聞配達をさせられました。2人1組で半月交代です。労賃は軍隊の鉄砲玉代になるとい話でした。朝が早く、配達徒歩。授業中、眠くなったなあ。



小学6年だった45年7月10日未明、仙台空襲に遭いました。大型爆撃機が焼夷弾を落とす中、祖母、弟と一緒に自宅を出て逃げ回り、評定河原で戦火をしのぎました。戻ってみると店舗兼自宅、小学校など街の中心部は、ほとんど焼けていました。家の防空壕に避難した人が炎や煙に巻かれて死亡するなど、市民1399人が犠牲になりました。

小中学生の皆さんには、75年前まで日本が戦争をしていたこと、そしてたくさんの方が戦争で亡くなったことを知ってほしいと思います。

今週の注目ニュース

◇5日(水) 8・5豪雨

1986年8月4日から5日にかけて、温帯低気圧の影響で大雨となり、福島県と宮城県を中心に大きな水害が起きた。大崎市で田んぼが冠水したほか、仙台市若林区卸町や宮城野区扇町も水に漬かったよ。

みんなの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 いいね小学校
- 6・7面 河北新報紙齢4444号投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー